

西上州・橋倉川本谷

ト野

- ◆日程：2025年8月17日
- ◆メンバー：6名（ト野・N野・N山・S口・H多）
- ◆形態：沢登り
- ◆ルート：
脱渓点～入渓点～橋倉川本谷～脱渓点

短いけれどアプローチが楽で、入渓したら脱渓まで退屈なところがなく、訪れた人々からは「沢の遊園地！！」「水と滝の王国！！」「大人の水遊び天国！！」などなど・・・様々な賛美の声が聞こえる渓である。僕もその魅力を再び味わいたくて、2020年に続いて2回目の来訪だ。夏の暑い日にビショビショになって登れば決して期待を裏切らない良き渓である。

ではサクッと報告を・・・。

まず、前夜は「道の駅万葉の里」で仮眠したが、ここは正式名称は「まんばのさと」であり、「まんようのさと」ではない。カーナビなどをカナでセットするときは要注意である。

前回、訪れた時は、橋倉集落に車をデポして遡行し、脱渓後は林道を少し辿り、地形図の「今泉」と明記されたあたりから南に降りる尾根に付いている山道を下山したのだが、今回は、橋倉集落から伸びる車道を、脱渓地点まで車で登って駐車スペースにデポ。登ってきた車道を下って、880m付近から東南東に向かう尾根を降り（何となく踏み跡がある。）、740m付近の渓に降りる。このルートは、降りたところが第1ゴルジュの入口で全く無駄がなく美味しいところ取りでこの渓を楽しめるお薦めのルートである。車をデポした脱渓点から入渓点までは約40分と非常にお手軽だ！！



そして、入渓てしまえば、飽きることないアトラクションが次から次へと現われて、その対応に暇がない。水と親しみながら第1ゴルジュを突破していくと、出口にある4m滝が曲者でガイド本によれば4級らしい。前回、訪れたときは1歩が出ずに高巻いたが、今回は特攻隊長のN山がいるので、ロープを引いてリードしてもらうとスルスル登って行ってしまった。僕は支点の取れない4級のリードは自信がないので、ロープをつけて登らせてもらった。ラバーソールがバチ効きだったからか、上部は少し細かかったものの、意外にスムーズに登ることができた。N山のおかげで、ここはメンバー全員シャワーを浴びながら無事に突破！！

■写真左 脱渓点付近の駐車スペース。

■写真右 740m付近の入渓点は穏やかな小川だ。



そして、次に現れるのが巨岩潜りの滝、全然難しくないが、その特異な景観は目を奪う。そして、巨岩に上に立つ巨木など、この辺り、恐竜が顔を出しても不思議がないような太古の森の雰囲気が漂う。そして、いよいよスリットゴルジュのお出ましである。見た目、とても険しそうで、登れる気がしないが、いざ近づいてみると、これが簡単に突破できるのだから樂しくて仕方がない！！

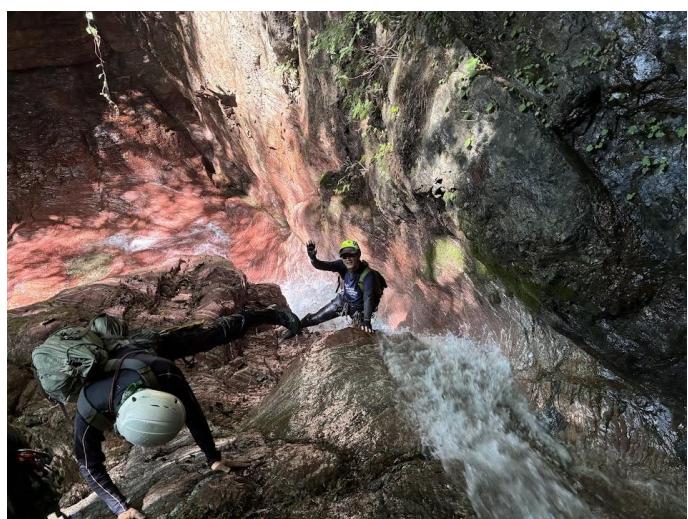
■写真上左 第1ゴルジュ入口の滝。

■写真上右 第1ゴルジュの連瀑帯！！

■写真中左 第1ゴルジュ出口の4m滝、上部が少し細かくて4級とある。

■写真中右 巨岩を潜る滝。

■写真下左・右 スリットゴルジュ！！遠目には難しそうだが実は簡単に突破できる。



さらに、続けて現れるのが赤い岩壁に囲まれたビックサンダーマウンテンのような滝！！赤い岩壁に連瀑が懸り美しいことこの上ない。これも岩にラバーがピタリと吸い付き、快適に突破していく。すると、最後に10mの滝がラ

スボス的な存在で現れる。登るとすれば、シャワー浴びまくり必至である。ここも前回は問答無用で巻いた滝だ。でも今回はN山がいる。「出動じゃ！！」N山はシャワーをものともせずに登って行く。その問答無用、怒涛のシャワークライミングを目の当たりにして他のメンバーはいそいそと巻き始める。巻けばなんていうことのない滝である。「ロープがあるなら！！」と僕は登らせてもらう。両耳に水が入って目も開けられないくらいだが、落ち着いて登ればホールドもスタンスもあって充実感満載の1本だった。

- 写真上左 赤い岩壁に囲まれたビッグサンダーマウンテン滝！！
- 写真上右 ビックサンダーマウンテン滝を快適に登る！！
- 写真下右 ラスボス 10m滝を怒涛のシャワークライミング！！
- 写真下左 最後の二俣の左俣に懸る 15m滝。ここは右俣に行く。

この後は優雅なナメ床が続き、最後に15m滝を右俣に見て、左俣の2段6m滝を登れば、間もなく脱渓点であった。10:00には山行終了。まさに朝活沢登りであった。

帰路は「両神温泉薬師の湯」（¥700）で温泉と食事、渋滞もほとんどなく、余裕で明るいうちに帰京した。

最高気温 35℃の猛暑にワイワイ登るには最高の沢です！！ご一緒したメンバーの皆さん、有難うございました！！また暑い時に来たいですね！！

■コースタイム

脱渓点 (6:37) ~ (7:17) 入渓点 (7:30) ~ (7:33) 第1ゴルジュ入口~ (7:42) 第1ゴルジ
ュ出口の4m滝 (7:50) ~ (8:07) 巨岩潜りの滝~ (8:41) スリットゴルジュ (8:50) ~
(8:53) ビックサンダーマウンテンの滝~ (8:59) 10m滝 (9:12) ~ (10:04) 脱渓点